

# 01

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

第2回「地域の課題を探る」

## 地域の課題をさぐる



### 【今日の目標】

学生が地域の課題を探ること。彼らが提案するプランの「根っこ(コンセプト)」になるからです。

日程：平成26年9月19日(金)

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：阪南大学(9名)、住民16名

### ■スケジュール

10:30 事業の内容と予定の説明(事務局)

10:35 阪南大学でのこれまでの取り組み

10:50 ・住民が思う、我まち自慢

・住民が思う、熱心な人たちの活動

・住民が思う、まちの課題

・学生からの質問や提案

12:35 和泉先生からの意見

12:45 学生との昼食会

14:00 市内の見学(学生のみ・紀州街道界隈と海辺)

17:00 終了



和泉先生(右前)と阪南大学3回生の皆さん

### 「文化財を活かした地域づくり」とは？

文化財は地域の創造に欠かすことのできない資源として、また人びとの心のよりどころとして、その多面的な価値が再評価されており、これからのまちづくりに活かしていくことが期待されています。

にもかかわらず、地域らしさのある「身近な文化財」は姿を消しつつあります。指定文化財など法に規定される文化財以外への対応は、十分とは言えず、それらを保護する具体的な仕組みが整備されていないからです。

これらの文化財の新たな価値を見出し活用し、地域で保護する仕組みづくりを促進することこそ、これからの文化財行政が取り組むべき課題といえます。

この取り組みは、文化財を観光資源としてとらえ、地域の活性化と文化財保護を両立できる仕組み作りを、「域学連携」で継続的に実践するものです。

課題解決には、オープンでフラットな話し合いの場で行います。文化財の価値は多面的で、より多くの担い手によって多面的に活用されることで、多面的な価値が見出されるからです。「域学連携」により取り組む必要性がここにあります。

さらに、多様な主体との発展的な連携を志向することで、この事業の目的である「自律的な文化財保護の仕組み」ができあがるはずです。

### できればアウトプットまで！

おおよそ以下の予定です。とにかく、目標にするのはプランの実現。住民の方と、一緒に取り組むことが理想です。

「情報の提供」日程：7/28 場所：阪南大学

泉南市職員による泉南市の現状について学生に情報を提供。これまでの文化財などの活用実績について。

「課題を探る」日程：9/19 場所：埋文

地域課題を探る、もしくは設定された地域課題について住民と対話しながら理解を深める。

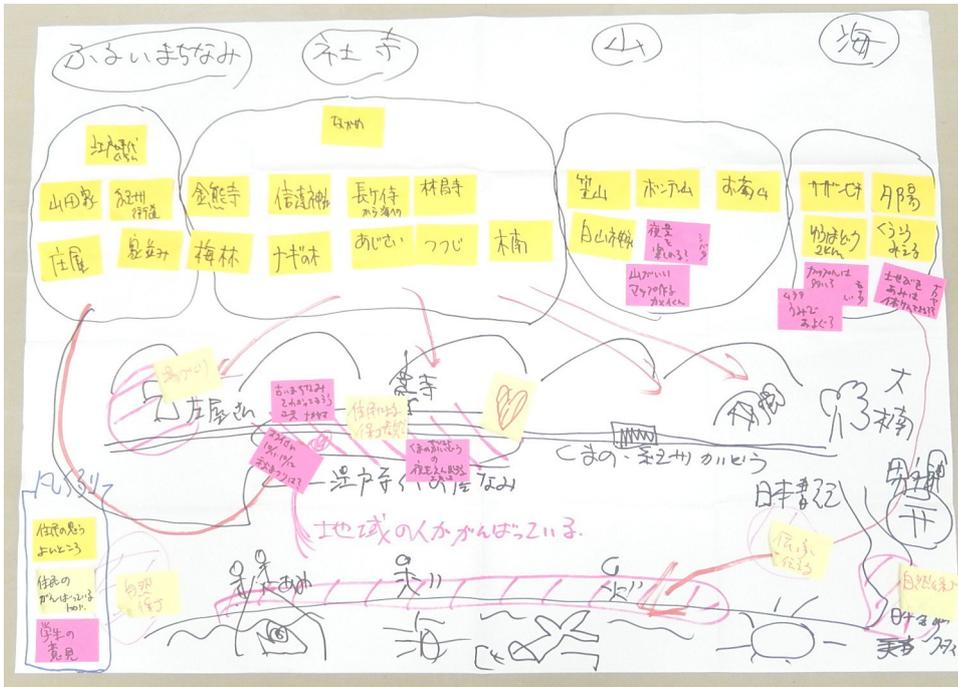
「現地調査」日程：2回程度 場所：泉南市内

「地域の課題」を解決するプラン作成のため、学生が泉南市内を現地で確認。

「公開プレゼンテーション」日程：未定 場所：埋文  
課題解決のプランを住民に発表。

「プランの実行」日程：未定 場所：泉南市内

学生が設定した地域の課題を解決するためのプランを、住民とともに実施。



← ■我まち自慢は…  
自然と文化、  
熱心なひとたち

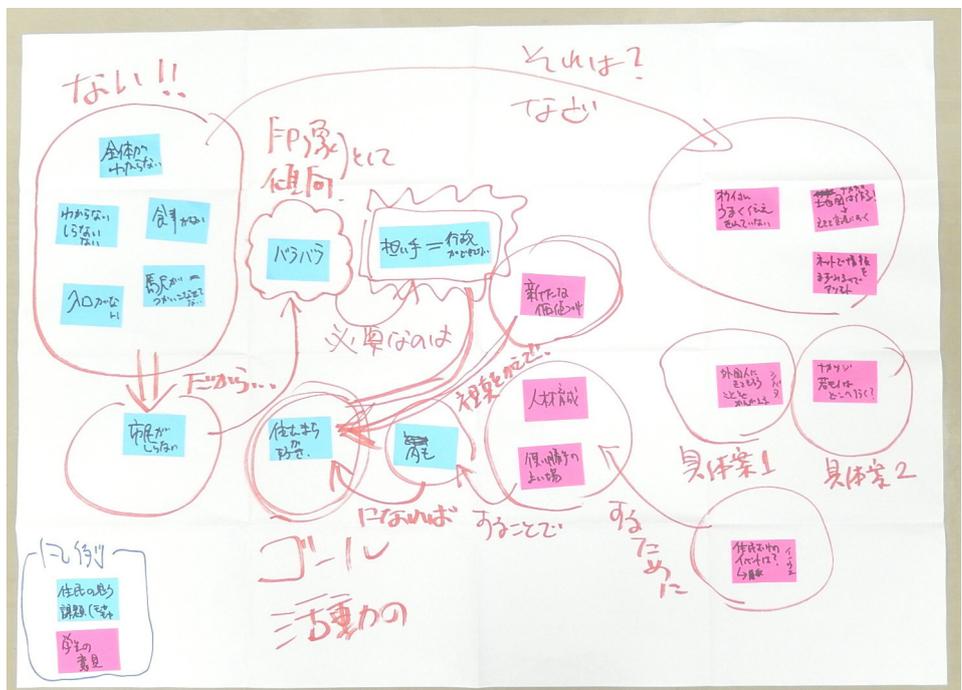
海に山、そこから見える景観などの自然。小高い丘にある寺院からの眺望。紀州街道と伝統的の家屋が続くまちなみ。泉南の魅力はたくさんありそうです。

魅力を活かし活動をする熱心な住民の方もたくさん！この方々もまきこんだプランもアリかも？

■課題は〇〇がない？ →

住民の方から出た課題は、案内がないなど〇〇がないという意見。まとめる人が居ないので、バラバラで、「まちを好きになるきっかけもない」といったもの。

仲良く並ぶ巨木を「縁結びスポット」にするなど、新しい価値づけ魅力づくりをしたり、〇〇がない改善に向けて活動するグループの活動の場づくりが必要なのなどの意見も。



今後の予定 12月頃に発表会です！

学生たちはその後も、信達市場地区など、泉南市内を巡ってまちの魅力さをさぐり、同時に課題として挙げられた箇所を確かめました。これから2回程度、泉南市内を訪れ、今日話し合った課題を解決するためのプラン作りに入ります。

出来上がったプランは、泉南市内で発表会を開催する予定です。詳細が決まり次第お知らせします。

この取り組みに  
参加してみたい方 大歓迎です！

問合せ・ご意見は、

泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL:072-483-6789

メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp



地元の方の説明を熱心に聞く学生たち